

# 議会だより

## 平成三十一年一月号外

平成三十年十一月十二日、国民宿舎「面河」の解体工事請負契約を議題として、臨時議会が開催された。

契約金額は、8640万円。九月議会に提示された予算金額より、300万円の減額であった。質疑の後、反対討論、賛成討論があり、採決が行われ、賛成八名、反対四名で可決した。

### 質疑

天野議員

平成29年度当初予算5500万円で成立したこの事業だが、今回の落札額は8640万円と、あまりにも差がありすぎるのではないか。平成29年度に、入札をしなかった理由と、金額が大きくなった説明が、理解できないので、説明頂きたい。

答弁 ふるさと創生課長

平成28年度に依頼した設計業者から出てきた金額を基に、平成29年度当初に予算計上した。平成29年度に、設計管理業者を、入札により決定した。その業者が設計する段階で、金額が大きくなった。現場手前の通天橋の重量制限が6トン、小型車両しか通行できないトンネルが3本あり、大型重機が入らず、小型重機しか使えず、

工事費が増えた。5500万円しか、予算計上していなかったので入札ができず、一旦、0円に減額した。

天野議員

5500万円を弾き出した時の計算がまずかったのか。その業者はどこなのか。

答弁 ふるさと創生課長

概算金額で予算計上したのが、今回の原因の一つだ。業者については答弁を控えていただく。

熊代議員

9月議会で、課長から、予算額を大幅に下回る金額で執行できるように努めたいとの答弁をいただいたが、そんな努力をしているようには見えない。解体業者のみの入札はできなかったのか。

答弁 ふるさと創生課長

本町は選定要綱で、3社以上の業者指名となっている。今回は指名8社の内、県内で実績・施工能力がある解体業者2社を指名した。解体業者2社のみでは入札に該当しない。とび土工または解体業者という括りの中で、8社を指名した。

中野議員

9月議会では、設計管理業者が出した金額について、精査できていないと答えているが、きちんと精査できる機関でチェックしたか。

答弁 ふるさと創生課長

外部にはしていない。建設課でみてもらった。

中野議員

(1級土木管理士の資格を持っている建設課長が)適正な価格と認めたということではないのか。

答弁 建設課長

適正というよりは、間違いは見つからなかったという事だ。

中野議員

9月議会で要求したチェック体制ができていないと感じた。議会に対して、ここまできちんと答えられない状況では、納得できない。今回の金額になった設計の資料を出して説明してもらえないか。

答弁 ふるさと創生課長

資料を出して説明する。

## 岡部議員

今回の事案は執行部が提案をする予算額への不信感につながるものだ。適正であるはずの予算計上、この金額をどうやって担保していくのか。今までの、副町長からの説明では自身の責任論は聞いていない。議会軽視ではないのか。

## 答弁 副町長

予算計上時にしっかりと確認ができていなかったことに今回は端を発している。私の方のチェックができていなかった様な事、大変申し訳なく思っている。今後、土木事務所あたりとも協議、確認をしてもらい予算計上するよう努めていきたい。

## 岡部議員

今まで原因に係る明快な答弁がなかったが、このままズルズルいけば、また同じ事が起きる可能性がある。対策を早急に講じると、明快な答弁をお願いする。

## 答弁 副町長

今回の原因は、予算を組む段階で精査が出来ていなかった事に尽きる。今後は、精査して予算計上をするという事で、私もそういったチェックをしていこうと思う。また職員一人一人にそういった指導もしていきたい。

## 中野議員

この件について、町長はどう考えているか。

## 答弁 町長

一度議決いただいた、それが執行できないという大変申し訳ない事になり、改めてお詫び申し上げる。初動体制にぬかりがあった、そのことにつき再発防止に向けて、こういう特殊工事も含めてその他のことについても、しっかりと目利きが出来る様な体制構築が必要と思っている。今後そういう事が二度と発生しないような糧として参りたい。

## 討論

質疑の後、先ず、反対の立場で討論し、次に賛成の立場で討論する。その後、採決となる。

## 反対討論

### 中野議員

反対の立場で討論する。今回の案件は平成29年度当初予算で5500万円で可決されたにも拘らず入札も行われないまま年度末に0円に減額された事に問題があり、設計管理者が実施設計をするに9千数百万円に大幅増になったという理由でそのまま予算に上げてきた。工事に使われるお金は住民の血税だ。そうい

うことを考えると、到底納得できない。私たち議員は、住民の付託を受けてこの場に立っている。このままでは住民の皆様には十分な説明が出来る根拠も自信もない。皆さんの予算計上、その予算を実施しない体制、きちっとした体制もできないまま入札したこの現実、そういうふうなもろもろの事でこの契約には賛成できない。

## 賛成討論

### 玉井議員

賛成の立場で討論する。国民宿舎解体については、以前から検討してきてどうしても壊して退けなければならぬという必要性を感じていたが、今回の件で本当に残念に思うが、概算と実質設計との違いという説明であったので、私は認めて、賛成討論する。

## 採決

## 賛成

中川議員

玉井議員

大原議員

天野議員

高橋議員

日野議員

岡部議員

川崎議員

## 反対

土居議員

田村議員

熊代議員

中野議員

賛成8名、反対4名  
で可決した

久万高原町議会だより

号外 平成31年1月18日

発行/久万高原町議会

愛媛県上浮穴郡久万高原町久万188

発行責任者/町議会議長 瀧野 志

編集/議会会報特別委員会

TEL 0892-21-0134

FAX 0892-21-0134